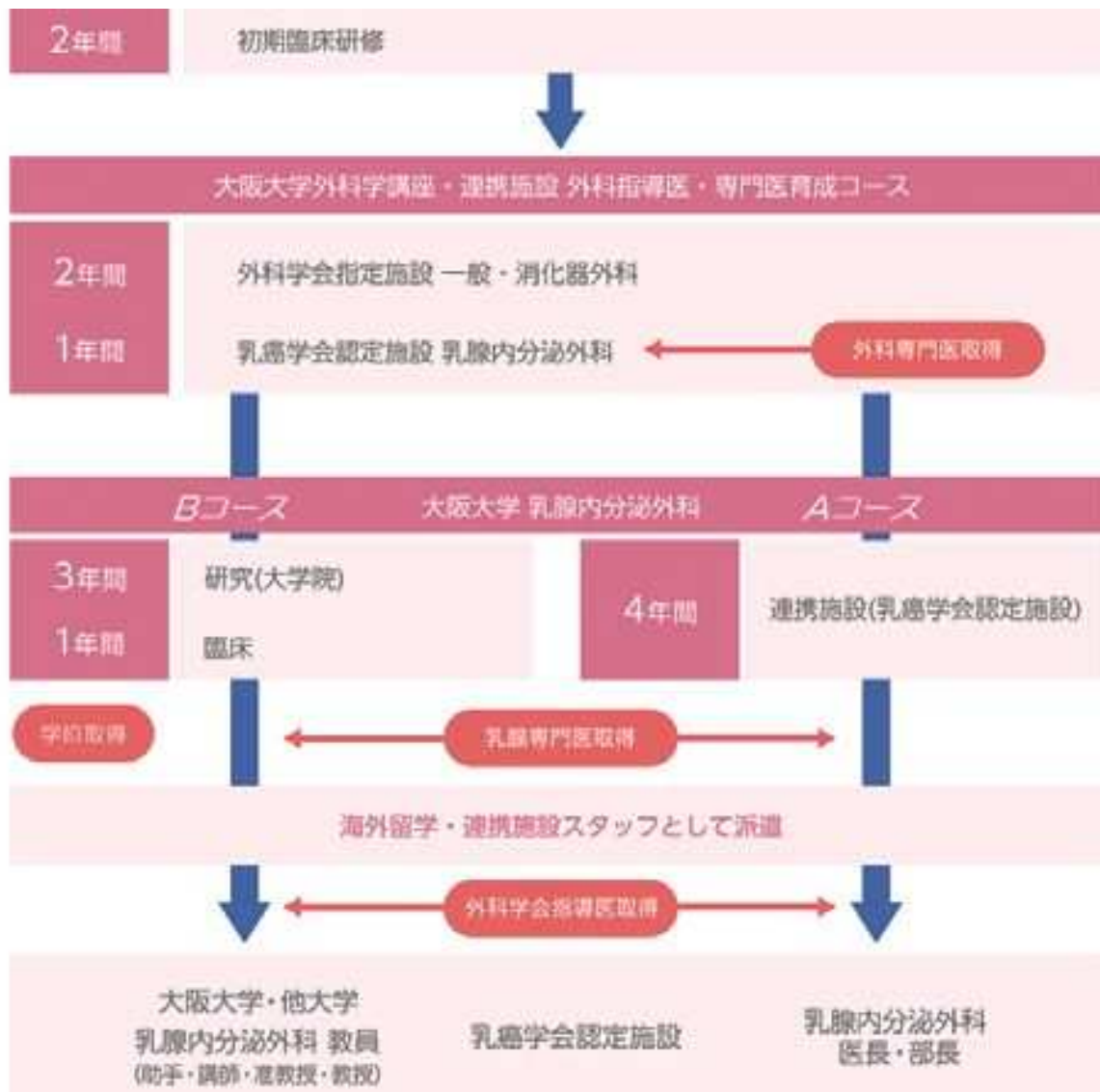


外科専門研修プログラム

サブスペシャルティ重点コース / 乳腺専門医コース

(1) コースの全体像

専門医コースの1～3年目は原則として関連病院で研修を行う（うち半年から1年を基幹病院である阪大病院にて研修を行う）。阪大以外の関連施設では、主に一般外科研修を行い、外科専門医取得に必要な一般外科を経験する。研修の状況や希望により、関連施設でも乳腺外科に所属し、乳腺疾患に関するさらなる知識と技術の習得を行うこともできる。6年目以降大阪大学乳腺・内分泌外科に所属して、サブコースに分かれる。Aコースでは6～9年目に附属病院で乳腺疾患に関する高度な診断や手術を習得し、それと平行して臨床研究を行う。Bコースでは大学院博士課程にて6～9年目には基礎研究、10年目には臨床研修を行う。終了時、Aコースは乳腺専門医、Bコースは学位を取得するが、両コースとも努力次第で専門医も学位も取得可能である。10年目からは関連病院及び乳腺外科専門病院をローテーションして実践的症例の診療経験を積むか、海外留学を行う。13年目以降は、外科指導医も取得可能となる。医療機関やコースの選択は研修者の希望に応じる。



(2) コースの概要

コース名： 乳腺専門医コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	年間受入人数	期間
大阪大学外科関連病院 大阪国際がんセンター、国立病院機構大阪医療センター、関西労災病院、JCHO大阪病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院、市立吹田市民病院、大阪警察病院、大阪急性期・総合医療センター	外科、 乳腺外科	外科（一般消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・救急）	3～5名	一般外科の基礎的研修と消化器外科を初め、外科専門医習得に必要な各分野の手術経験	2名	2年間
乳腺外科専門病院 大阪国際がんセンター、国立病院機構大阪医療センター、関西労災病院、JCHO大阪病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院、大阪警察病院、大阪急性期・総合医療センター、大阪ブレストクリニック	乳腺外科、 乳腺内分泌外科	乳腺外科（乳房切除術、乳房温存術、センチネルリンパ節生検、乳腺針生検法など）	2～4名	乳腺疾患の基礎的知識・技術の習得、外科専門医習得に必要な手術経験、乳腺専門医取得に必要な手術経験	2名	1年間
大阪大学 乳腺・内分泌外科	乳腺外科	乳腺外科および乳腺疾患診療（乳腺切除術、乳房温存術、乳房再建術、鏡視下手術、センチネルリンパ節生検、乳腺針生検術、術前術後薬物療法、進行再発乳癌治療、ターミナルケア、臨床試験など）	8名	乳腺疾患の高度な知識・技術の習得、乳腺専門医の取得に必要な手術経験と研究論文業績	Aコース 3名 Bコース 3名	Aコース 5年間 Bコース 5年間
大阪大学関連病院 大阪国際がんセンター、国立病院機構大阪医療センター、関西労災病院、JCHO大阪病院、堺市立総合医療センター、市立豊中病院、大阪警察病院、市立貝塚病院、市立東大阪医療センター	乳腺外科、 乳腺内分泌外科	乳腺外科（乳腺切除術、乳房温存術、鏡視下手術、センチネルリンパ節生検、乳腺針生検術、術前術後薬物療法など）	1～4名	乳腺外科の実践的症例の手術術者経験、外科指導医取得のための手術と臨床研究論文業績	2名	2～4年間
				合計	12名	

(3) コースの実績

阪大関連病院においては研修医一人あたり年間約 150 例の外科症例経験が見込まれ、外科専門医取得に必要な各専門別症例数も充足している。乳腺外科専門病院では研修医一人あたり年間 100 例程度の乳腺外科症例経験が見込まれる。毎年 2～3 名が乳腺専門医を取得している。令和 3 年度、大阪大学では A コース 1 名、B コース 13 名が在籍している。

(4) コースの指導状況

関連病院外科には外科指導医 1 名以上、外科専門医 3 名以上が配置されている。乳腺外科専門病院には 1 名以上の乳腺専門医が配置されている。大阪大学乳腺・内分泌外科においては乳腺専門医 7 名（うち外科指導医 4 名）が直接指導に当たっている。また、週 4 回の症例検討会を行い、検査、手術、薬物療法においては少なくとも 1 名の専門医に修練医が直接指導を受ける。

(5) 専門医の取得等

学会等名	1) 日本外科学会 2) 日本乳癌学会
資格名	1) 外科専門医 2) 乳腺専門医
資格要件	1) 研修開始登録後5年以上の修練。350例(うち術者として120例)の手術件数の修練実績。各専門分野の必須症例数以上の修練実績。研究発表または論文発表の業績。筆記と面接試験の合格。 2) 学会認定医制度協議会の定める基本的領域診療科(外科学会)の専門医であること。日本乳癌学会認定医（経験症例40例）であること。臨床研修医終了後、認定施設(関連施設を含む)において通算5年以上の必要な修練を行っていること。乳癌の(手術、診断、化学療法、放射線治療のいずれかに限定して)診療経験が100例以上。学会発表、論文発表(筆頭1編)業績。筆記と面接試験の合格。
【学会の連携等の概要】 外科専門医取得のための研修中の乳癌手術経験を乳腺専門医取得の症例経験に含むことも可能。外科専門医取得後に乳腺専門医を申請可能。最短では医籍登録後7年間で乳腺専門医の受験資格が取得可能である。	



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科

担当者 下田 雅史

✉ mshimoda@onsurg.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.onsurg.med.osaka-u.ac.jp/>

